

令和5年度 さいたま市立大谷口中学校  
学校教育目標 学校経営方針 重点・努力点

## 1 学校教育目標

### ◎ かしこく

自ら学び自ら考え判断する力をはぐくみ、生き生きと光り輝く人間性を養う。

### ◎ 美しく

さわやかなあいさつ、正しい言葉づかいをはじめ、思いやり等の内面から出てくる心の美しさを大切にする。

### ◎ たくましく

進んで運動に親しみ、体を動かすことの楽しさや喜びを体得させる。望ましい生活習慣の確立を図り、心身ともにたくましい生徒を育成する。

<目指す生徒像>

#### ○ 夢や希望が持てる生徒

- ・自己肯定感と自信を持てる
- ・夢や希望の達成を目指して、身近な目標を立てる

#### ○ あいさつや返事ができる生徒

- ・「おはようございます」「はい」「ごめんなさい」  
「ありがとうございます」（心を潤す4つのことばの徹底）

#### ○ 真剣に聞き、考える生徒

- ・人の話を「聴ける人」に

#### ○ 思いやりのある行動ができる生徒

- ・自分を大切に、そして周りの人を大切にした生き方

#### ○ 何事にも意欲的に取り組む生徒

- ・楽しい、嬉しい、悔しい、辛い、悲しいなど、その気持ちを受け止め、理解してくれる人がいる。そして、それを次回につなげていける。

<目指す学校像 ～生徒、保護者、地域から信頼される学校～ >

#### ○ 生徒のよさや可能性を伸ばせる学校

#### ○ 教職員が組織的に教育活動を進める学校

#### ○ 生徒・保護者・地域が誇れる学校

## 2 学校経営方針

自分に自信をもち、自分や周りの人を大切にできる生徒の育成に努める

～大谷口中学校は自分に自信がもてるように、あなたを応援します～

- (1) 生徒の学校生活における様々な不安を解消し、生徒と生徒、生徒と教職員、保護者と教職員の心の通い合いのある温かな雰囲気の人間関係の醸成に努め、生徒、教職員がやりがい、生きがい（自己肯定感）を感じられる学校づくりを推進する。
- (2) いじめ防止基本方針を踏まえ、自分の命を大切に守り自他の人権を尊重し、他者の痛みを共有できる心、いじめを許さない心、差別を許さない強い心を育てる。

- (3) 「個別最適な学び」「校種を超えた学び」では、ICTを積極的に活用した授業改善を図り、生徒の可能性を引き出した「協働的な学習」「探究的な学習」を実践し、学習に対する自信や満足感を得ることができるようになる。
- (4) 家庭・地域との連携を大切にし、信頼され愛される学校づくりを推進する。また、小・中一貫教育を踏まえ、関係小学校と学びの連続性を充実させる。
- (5) 「わかりやすい授業」の展開と反復等により、基礎・基本の確実な定着に努め学力の向上を図る。さらに、「さいたま STEAMS 教育」「SDG s 教育」などを通して、「教科横断型」の探求的な学びを推進する。

### 3 本年度の重点 ～一人ひとり多様な幸せ (Well-being) を大切にする中学校～

- (1) 生徒を認め、褒めて、自己肯定感の醸成 【Grit Growth Global】
- (2) 生徒指導・教育相談事案への迅速・適切な組織的対応とアフターケア並びに関係諸機関との積極的な連携 【Grit Global】
- (3) ICT の積極的な活用を通じた生徒の学習意欲の喚起と基礎・基本の徹底、並びに主体的・対話的で深い学びの充実 【Growth Global】  
 Grit：やり抜く力で「真の学力」を育成する。Global：「国際社会で活躍できる力」を育成する。Growth：一人ひとりの成長を支え、「生涯学び続ける力」を育成する。

### 4 目指す教師像「認め・褒めて・自信をつける」大谷口中学校の教師であるために

- (1) 常に資質向上を目指し学び続ける教師
  - ・自己の専門教科に関する研修はもちろん、今年度、本発表の「STEAMS 教育」や道徳教育に係る研修、人間性を高めるための一般教養やICT活用に関する研修に努める。
- (2) 常に一人ひとりの生徒を大切にし、生徒と心を通わせる教師
  - ・厳しくとも心が通じ、生徒が信頼してついてくる温かい指導を心がける。
  - ・生徒と向き合い、生徒のよさを見つけ、積極的に評価し、生徒一人ひとりの心情に応じた励ましや賞賛に努める。
- (3) 常に教職員相互の親和を保ち、尊敬し合い、協調し合う教師
  - ・「学校は組織体」の意識を常に持ち、集団としての意識を忘れない。
  - ・「できない」ではなく、「どうしたらできるか」の発想をして創造する。
  - ・先輩教師は若手教師の新鮮な発想を寛容に受け止め、若手教師は先輩教師の助言に謙虚に耳を傾ける努力をする。
- (4) 常に自らの健康に留意し、生徒の前で明るい笑顔を見せることのできる教師
  - ・自ら積極的に心身の健康の維持増進に努めるとともに感染症対策を徹底する。
  - ・互いの健康状態を理解し、いたわり合い、助け合う雰囲気を醸成する。
- (5) 常に広く社会の事象に目を向ける、社会常識の通用する教師
  - ・言語環境を整えるなど人権意識をもち、社会の情報を収集する。
- (6) 常に教育公務員としての自覚を持ち、保護者・地域から信頼される教師
  - ・教職員事故（金銭事故、体罰等の非違行為）の防止に努め、職務に専念する。